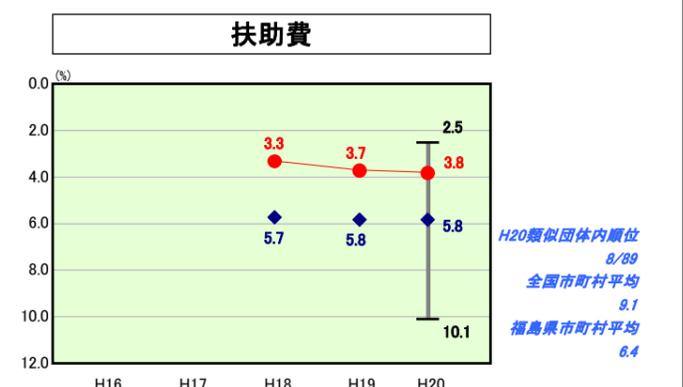
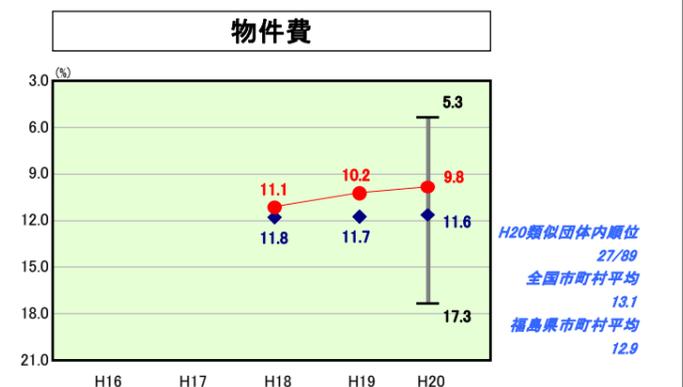
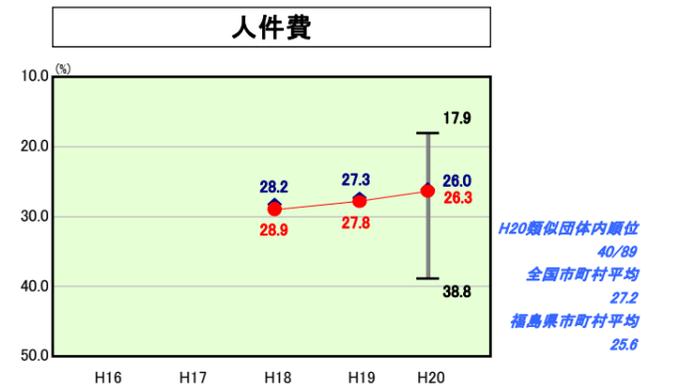
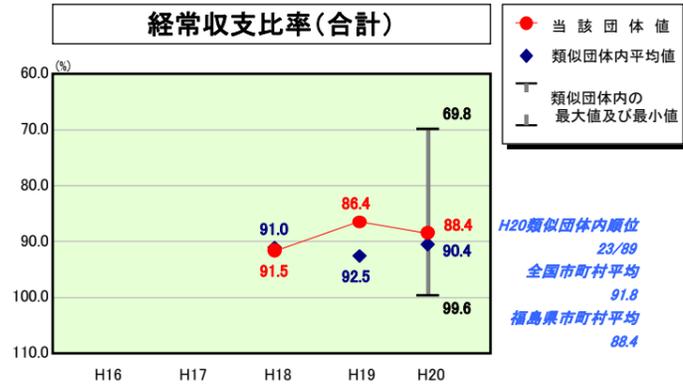
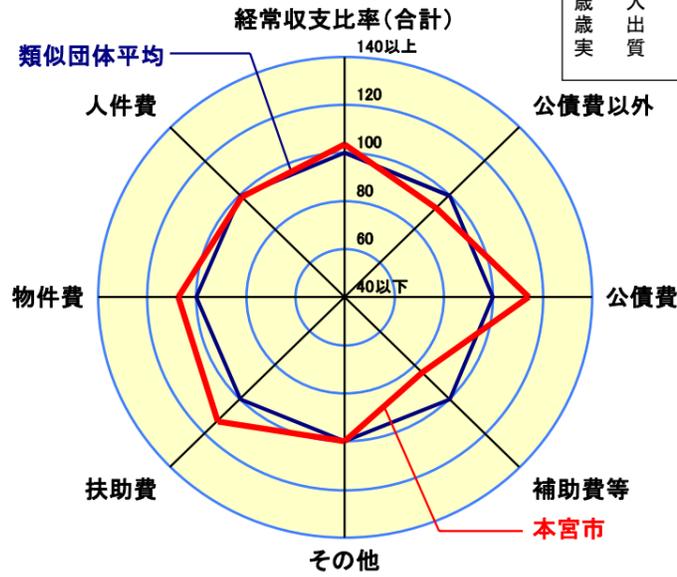


# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

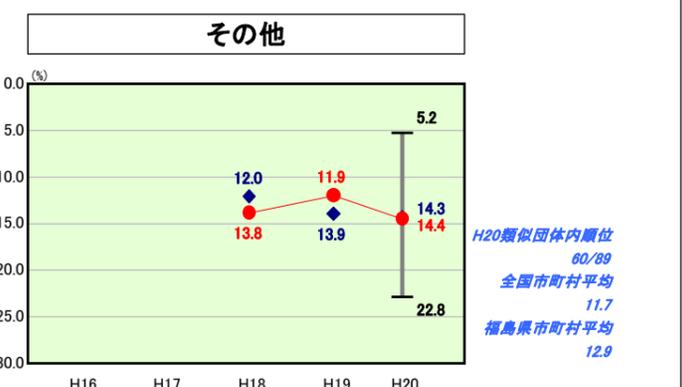
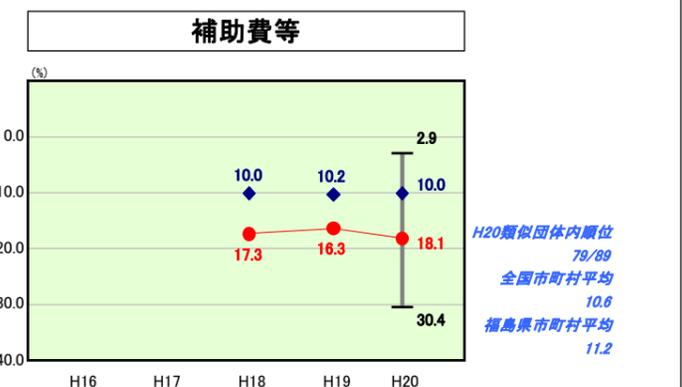
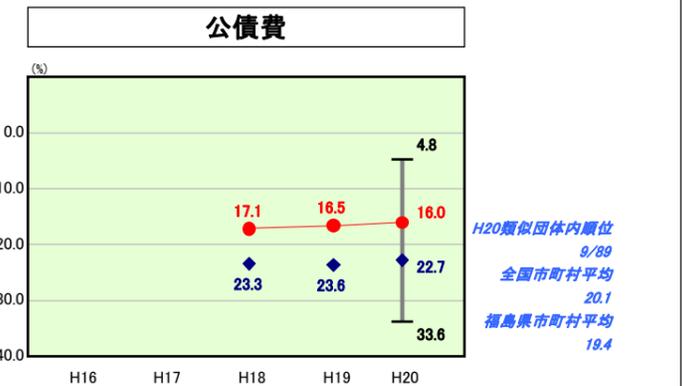
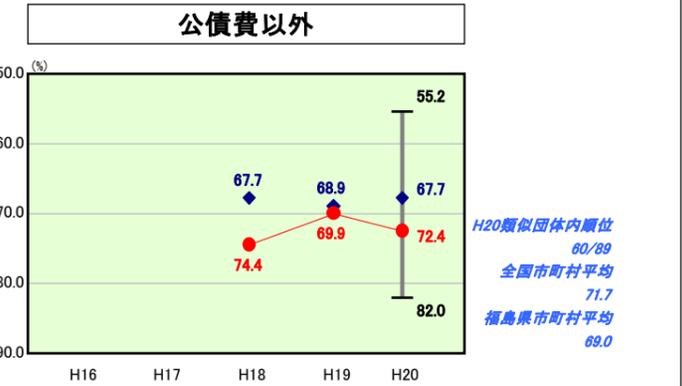
## 経常収支比率の分析



人口	31,858人(H21.3.31現在)
面積	87.94 km <sup>2</sup>
標準財政規模	7,828,519千円
歳入総額	12,980,802千円
歳出総額	11,917,115千円
実質収支	515,698千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



### 分析欄

**経常収支比率** : 平成20年度88.4(平成19年度86.4)で前年度より2ポイント増加。今後は、経常経費の削減に努め、当該比率の減少を図る。  
**人件費** : 類似団体平均値とほぼ同率。自主的財政健全化計画、定員適正化計画に基づき人件費の抑制に努める。  
**物件費** : 類似団体平均値比較で、▲1.8ポイント。今後も現状維持に努める。  
**扶助費** : 平成20年度3.8(平成19年度3.7)で対前年度ほぼ同率。生活保護費をはじめ医療費助成等、今後も上昇傾向が見込まれる。  
**公債費以外** : 類似団体平均を4.7ポイント上回っているため、今後は、物件費を中心に経常経費の削減に努め、当該比率の減少を図る。  
**公債費** : 平成20年度16.0(平成19年度16.5)で対前年度▲0.5ポイント。類似団体平均値比較では、▲6.7ポイントとなっている。今後も後年度財政負担を十分考慮しながら、計画的な地方債の発行及び償還を行う。  
**補助費等** : 平成20年度18.1(平成19年度16.3)で前年度より1.8ポイント増加。定額給付金や障がい福祉サービス費負担金などの増加が要因である。  
**その他** : 平成20年度14.4(平成19年度11.9)で前年度より2.5ポイント増加。今後は繰出金削減のため特別会計での経費削減に努める。  
**人件費及び人件費に準ずる費用** : 類似団体平均を下回っている。今後も財政健全化計画に基づき当該費用の支出額を維持する。  
**公債費及び公債費に準ずる費用** : 類似団体平均を上回っている。債務負担行為支出額が多いので、今後も普通建設事業費に係る新規設定をしない方針である。  
**普通建設事業費** : 類似団体平均とほぼ同率。今後も、後年度の財政負担を十分に考慮し、実施の有無を判断する。